



平成22年2月12日

各 位

会社名 テイカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 清野 學
 (コード番号: 4027 東証・大証一部)
 問合せ先 代表取締役専務取締役 杉江一彦
 (TEL 06-6208-6404)

(訂正・数値データ訂正あり) 平成22年3月期第3四半期決算短信の一部訂正について

平成22年1月29日に公表いたしました「平成22年3月期第3四半期決算短信」の内容に一部誤りが
 ありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線_を付して表記しております。
 また、数値データにつきましても訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

[訂正箇所]

- 1 ページ 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)
 (1) 連結経営成績 (累計)

【訂正前】

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成22年3月期第3四半期	21,894	△15.2	<u>814</u>	<u>△6.7</u>	<u>796</u>	<u>△9.8</u>	426	15.2
平成21年3月期第3四半期	25,816	—	872	—	883	—	370	—

【訂正後】

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成22年3月期第3四半期	21,894	△15.2	<u>808</u>	<u>△7.3</u>	<u>791</u>	<u>△10.4</u>	426	15.2
平成21年3月期第3四半期	25,816	—	872	—	883	—	370	—

3 ページ 【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

【訂正前】

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済対策の効果や在庫調整の一巡等により、一部に景気持ち直しの兆しが見られるものの、本格的な回復には至っておらず、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下にあつて、当社グループは機能性製品を中心に積極的な販売活動を展開いたしました。世界的な需要低迷の影響による販売数量の減少等もあり、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は218億9千4百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益は8億1千4百万円（前年同期比6.7%減）、経常利益は7億9千6百万円（前年同期比9.8%減）となりました。四半期純利益は、前年同期に特別損失として2億3百万円を計上した投資有価証券評価損が、当第3四半期連結累計期間では発生していないこともあり、前年同期に比べて15.2%増加し4億2千6百万円となりました。

【訂正後】

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済対策の効果や在庫調整の一巡等により、一部に景気持ち直しの兆しが見られるものの、本格的な回復には至っておらず、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下にあつて、当社グループは機能性製品を中心に積極的な販売活動を展開いたしました。世界的な需要低迷の影響による販売数量の減少等もあり、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は218億9千4百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益は8億8百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益は7億9千1百万円（前年同期比10.4%減）となりました。四半期純利益は、前年同期に特別損失として2億3百万円を計上した投資有価証券評価損が、当第3四半期連結累計期間では発生していないこともあり、前年同期に比べて15.2%増加し4億2千6百万円となりました。

7 ページ (2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

【訂正前】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,816	21,894
売上原価	21,384	17,682
売上総利益	4,431	4,211
販売費及び一般管理費	3,559	3,397
営業利益	872	814
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	131	93
その他	53	40
営業外収益合計	189	136
営業外費用		
支払利息	119	127
その他	58	26
営業外費用合計	178	153
経常利益	883	796
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2
移転補償金	—	47
特別利益合計	—	49
特別損失		
固定資産除却損	108	116
投資有価証券売却損	—	35
貸倒引当金繰入額	—	8
投資有価証券評価損	203	—
その他	0	—
特別損失合計	312	160
税金等調整前四半期純利益	571	686
法人税、住民税及び事業税	161	263
法人税等調整額	29	△15
法人税等合計	191	247
少数株主利益	10	12
四半期純利益	370	426

【訂正後】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,816	21,894
売上原価	21,384	17,682
売上総利益	4,431	4,211
販売費及び一般管理費	3,559	3,403
営業利益	872	808
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	131	93
その他	53	48
営業外収益合計	189	144
営業外費用		
支払利息	119	127
その他	58	34
営業外費用合計	178	162
経常利益	883	791
特別利益		
移転補償金	—	47
特別利益合計	—	47
特別損失		
固定資産除却損	108	116
投資有価証券売却損	—	35
貸倒引当金繰入額	—	0
投資有価証券評価損	203	—
その他	0	—
特別損失合計	312	152
税金等調整前四半期純利益	571	686
法人税、住民税及び事業税	161	263
法人税等調整額	29	△15
法人税等合計	191	247
少数株主利益	10	12
四半期純利益	370	426

9 ページ (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

【訂正前】

	酸化チタン 関連事業 (百万円)	その他 化学品事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,446	8,350	1,097	21,894	—	21,894
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	561	2,212	1,309	4,083	(4,083)	—
計	13,008	10,562	2,406	25,977	(4,083)	21,894
営業利益	<u>140</u>	649	7	<u>797</u>	16	<u>814</u>

- (注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。
2 各事業区分に属する主な製品は次のとおりであります。
- (1) 酸化チタン関連事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、
光触媒用酸化チタン等
- (2) その他化学品事業……………界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、
無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、電池セパレータ等
- (3) その他事業……………倉庫業及びエレクトロ・セラミックス製造販売

【訂正後】

	酸化チタン 関連事業 (百万円)	その他 化学品事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,446	8,350	1,097	21,894	—	21,894
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	561	2,212	1,309	4,083	(4,083)	—
計	13,008	10,562	2,406	25,977	(4,083)	21,894
営業利益	<u>134</u>	649	7	<u>791</u>	16	<u>808</u>

- (注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。
2 各事業区分に属する主な製品は次のとおりであります。
- (1) 酸化チタン関連事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、
光触媒用酸化チタン等
- (2) その他化学品事業……………界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、
無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、電池セパレータ等
- (3) その他事業……………倉庫業及びエレクトロ・セラミックス製造販売

以 上